



学校の窓から

令和3年2月26日号

6年生のみなさん ありがとう 6年生を送る会



<今までありがとうございました>

2月25日(木)に「6年生を送る会」を行いました。これまで3回の「なかよし集会」を行ってきた「きょうだいグループ」で行いました。今回は、5年生が中心になって活動を企画・運営しました。コロナ禍なのでみんなでゲーム等を行うことはできませんでしたが、6年生に金の冠と色紙を送った後、1～5年生の一人一人が、6年生へのメッセージを述べながらカード(色紙に貼るもの)を渡しました。最後に、6年生一人一人が下級生へのメッセージやお世話になった人々への感謝の気持ちを述べました。きょうだいグループのみんなが、一緒に過ごす時間を名残り惜しんでいました。子どもたちにとって、異年齢集団で活動することは大切な思い出になっています。

アンケートの意見にお答えします

昨年11月下旬に「教育活動に関するアンケート」にご協力いただきましてありがとうございました。その集計結果については、4ページに掲載しましたのでご覧ください。また、「提案」として記述されたご意見の中から、複数の方から寄せられた意見について、学校の考えを説明します。

本校では、このアンケート結果を客観的な資料として全教職員で自己評価し、成果と課題及び改善策を明確にして次年度の教育計画を作成しました。今後も、子どもたちの健やかな成長のために、教職員と保護者の皆様が手を携えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

水泳記録会や持久走記録会は屋外活動で密にもならないので、参観したかったです。

→学校の行事等の日時は、遅くとも前月末にお知らせすることを基本としています。保護者にはシフト制など多様な勤務形態の方がいるためです。今年度は感染防止のために体育科の授業を行う校庭や体育館の配当を各学年2学級ずつにしたために、空いている時間帯が少なくなりました。さらに、屋外の活動は天候による変更もあるために、6学年分の実施日時を案内するのが困難な状況でした。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、学年全体でできるようになりましたら、実施日時を案内するようにします。

週3回の清掃を毎日行うようにしてはどうでしょうか。

→学習指導要領に基づく授業時数を確保するために、火・木曜日に25分間の「モジュール授業」を実施しているので、一斉清掃は月・水・金曜日の週3回になっています。一斉清掃がなくても、6年生が毎朝ボランティア清掃として廊下や階段等の清掃を行っています。日直や係の活動として掃き掃除を行っている学級もあります。自分たちが使った所をきれいにしたり、落ちているごみを拾ったりする意識を高めていきたいと思っております。

ICT機器の積極的な活用を期待しています。

→GIGAスクール構想が推進され、1人1台のタブレット端末が配備されました。校内のWi-Fi環境はすでに整い、各教室からインターネットにつながる状態です。授業において効果的な活用や児童への指導ができるように、教職員はすでに研修に取り組んでおり、次年度も計画的に研修を進めていく予定です。令和3年度の活用方法等については、機器等の設定やシステムの運用方法等にも関わるので、まだ不明な部分があります。

プログラミング教育の中核の目標は、次の「プログラミング的思考」を育成することです。

「自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力」

本校では次の場面で「プログラミング的思考」を育成していきたいと考えています。

- 各教科の学習内容について、コンピュータを使って効果的に学習できる場面。
- 探究的な学習の過程で、自分の考えを発信する手段としてプレゼンテーションを活用する場面。

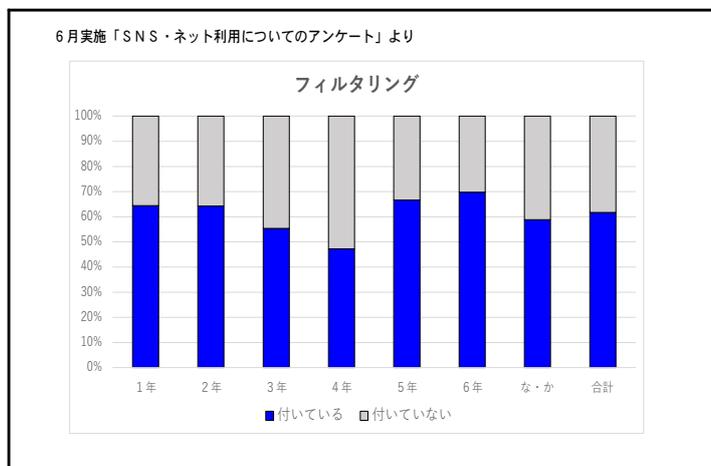
(両論併記) ノーメディアは強制しなくてもいいのではないのでしょうか。

ノーメディアデーは回数が少なく、普段の生活に活かしていないので家庭学習カードを活用してはどうでしょうか。

→ICTやAI等が発達し、多様な機能が生活の中に入ってくる時代です。しかし、子どもは好奇心や想像力が旺盛であるだけに、仮想と現実を区別することが難しいという特性をもっていることに留意する必要があります。また、メディアとの接触が長時間に及ぶと、子どもの脳機能に深刻な影響を及ぼすことが科学的に分かってきています。こうしたことから、子どもはメディアとの接触を上手にコントロールすることが不可欠です。メディアとの接触の仕方や情報モラルの指導については、学校でも低学年から系統的に指導するように計画を立てています。

各家庭でメディア接触をコントロールすることも不可欠です。その方法としてルールづくりとフィルタリングの設定が不可欠です。昨年5月に行った調査では、ルールがつくられている家庭は、81.5%（そのうち守られているのは64.4%）、フィルタリングが設定されている機器は61.6%でした。つまり、約40%の子どもがメディア接触をコントロールする術を有しておらず、弊害に陥る危険性が高いということです。

ルールづくりとフィルタリングの設定は、保護者にしかできませんので、「子どもをメディアの弊害から守る」という意識をもっていただきたいと思います。そのきっかけとしてノーメディアデーを計画的に実施したいと思います。



トイレの排水を直して水を流して掃除ができるようにしていただきたい。

→専門業者によると、トイレの床面の経年劣化により、タイルの目地に水が入り込み、下層への水漏れの原因になるので、水まきは勧められないとのこと。現在は、週3回の清掃時に担当児童がゴム手袋をした上で、専用の水ぶき雑巾で床を拭き取っています。これ以上の作業を求めるのであれば、PTAの予算を使って定期的に業者を入れて掃除を行ったり、保護者の皆様から清掃ボランティアとしてご協力いただいたりすることが必要かと思えます。

校庭の遊具や体育用具、図書館の本を増やしていただけたら嬉しいです。

→体育科の授業に必要な用具は、市費等で計画的に揃えるようにしています。図書館の蔵書の充足率は約120%なので、市の配当予算は限られています。校庭の遊具を増やすには100万円単位の予算が必

要です。したがって、今以上に子どもたちが楽しく活動するための物品を増やすには、自主財源が必要です。本校の自主財源には次の方法があります。

ベルマーク：ベルマーク部会が毎月5～10日に集めて集計しています。今年度は125,467円の収益がありました。

資源回収：環境部会が行っています。今後はアルミ缶に特化し、本校オリジナルバックを使って市の資源物回収日（第2・4火曜日）に合わせて持ち寄ることになります。

バザー：バザー部が行っています。次年度もコロナ禍が続くとバザーはできませんが、好評の手作り品を製作し、保護者が集まる際に販売する予定です。

けやきの会：年度当初に一口1,200円の会費のご協力をお願いし

ています。購入物品は保護者のアンケートを基に役員会で決めています。今年度は、298口357,600円の会費が集まり、外国語ピクチャーカードや音楽鑑賞用DVD等を購入しました。

ベルマーク集めや資源回収は、一人一人が少し心がけることで子どもたちのための予算確保になります。手作り品を販売する機会がありましたらご協力ください。けやきの会については今後詳しい案内がありますので、趣旨や方法をご理解の上できるだけご協力いただけると助かります。子どもたちの笑顔のためにご協力お願いします。

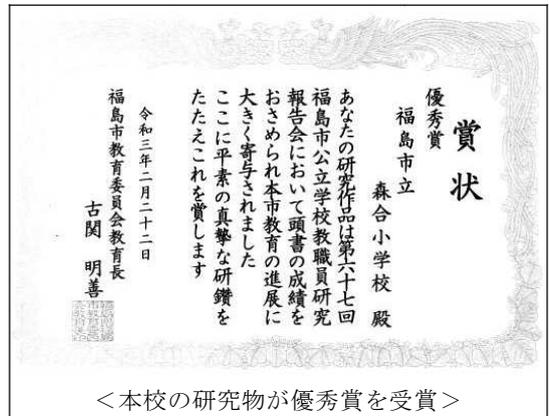


<オリジナルバックによるアルミ缶回収>

森合小は特長のある活動・教育が正直自信をもって答えられるものを感じません。何か力を入れて森合小で学んだ子どもたちが自信をもって卒業してくれることを望みます。

→この意見は以前からあったので、共同研究で「教科等横断的な視点から組み立てた単元の構想と実践」に取り組み、探究的な学習を充実させてきました。今年度からE S D (持続発展教育)の考え方を取り入れています。各学年で、生活科と総合的な学習の時間を核として各教科等の学習内容・方法を関連付け、体験的な活動や地域の人材を生かした活動を行ってきました。今後は子どもたちのテーマに合うコンクール等に応募したり、ICT機器を活用して発信したりして、自分たちの思いや願いを伝える活動が充実してくるものと思います。

こうした学習活動は、本校が2017年から加盟している「ユネスコスクール」の理念に合致します。ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の理想を実現するために、平和についての共通テーマを学び、国内外のユネスコスクールとつながっていく国際的な学校です。日本では、持続可能な社会を築く未来の人材づくり(E S D)のために必要な価値観を育み、自発的で実践的な学習の在り方を重視しています。本校で6年間学びユネスコの理念を育んだ子どもたちが、自信をもって世界にはばたいていくことを願っています。



<本校の研究物が優秀賞を受賞>

「福島市立学校ポータルサイト」を活用し、もっと情報を発信してほしいと思います。学校の様子を保護者が知ることで理解も深まり、子どもとの会話が増えると思います。

→子どもの画像をインターネット上に掲載することは、不特定多数の人々に情報を提供することになるので、多様なリスクを伴います。掲載した画像が思いもよらない形で拡散したり悪用されたりする事件が、実際に起きています。こうした特性を考慮し、本校では教育活動の様子をポータルサイトに掲載することに慎重な態度をとっています。また、学校の様子をポータルサイトに掲載するには手間がかかります。子どもたちが学校にいる間、本校教職員は子どもたちへの指導・支援に全力を注いでいます。放課後は次の日の準備や各種会議、各校務の処理等に費やされます。ポータルサイトに関わっている時間がないので、掲載内容は最低限必要なものにとどまっているというのが実情です。お子様の学校の様子については、ぜひお子様に聞いてください。学校では日々いろいろなドラマが繰り広げられていますので、話題はたくさんあります。子どもたちは、よく聴いてくれる人によく話すようになると思います。